

地域の魅力発信セミナー(第23回駐日外交団の地方視察ツアー)

平成29年5月9日から10日まで、外務省と一般社団法人秋田犬ツーリズムとの共催で、秋田県北部視察ツアーを実施し、駐日各国外交団から17か国計23名が参加しました。

今回の秋田県北部へのツアーでは、同地域の歴史、産業、観光等への理解を深めることを目的とし、各視察先にて参加者に対して、各施設の取組等が紹介されました。

1日目、大館能代空港に到着した外交団は、空港のすぐそばにある伊勢堂岱遺跡に移動し、マタギ、大館市が飼育する秋田犬「飛鳥」と「あこ」、ゆるキャラ「バタもっち」と「はちくん」の歓迎を受けました。1年前に完成したばかりのガイダンス施設「縄文館」で行われた歓迎セレモニーに参加した後、考古学者スタッフの案内で、4つのストーンサークルから構成される遺跡を見学しました。

午後は、株式会社エコリサイクルを訪問し、回収された使用済み家電が、解体・破碎・選別される様子を視察しました。その後、鉱山で栄えた小坂町に移動し、小坂鉱山事務所や鉱山の従業員のための厚生施設「康楽館」などを見学しました。往時の繁栄を物語る近代化遺産群を見学した外交団は、その一方で鉱山が環境破壊も招いたことを学びました。

夕方、十和田湖畔に佇むホテルに到着した外交団を迎えたのは曲げわっぱに皮を張った和楽器「大館曲げわっぱ太鼓」の演奏でした。夜は、比内地鶏、いぶりがっこ、バター餅など地域が誇る名物料理に、外交団は舌鼓を打っていました。

2日目は、ホテルの前にある栈橋から遊覧船に乗船、鏡のように美しい十和田湖と開放的なパノラマを堪能しました。下船後、廃電子基板やスクラップ類などのリサイクル原料から、金・銀・銅などの非鉄金属を回収している小坂製錬株式会社を訪問。視察の最後には金、銀のインゴットを持ち上げ、その重さに参加者達は驚いていました。

午後は、曲げわっぱ工房「大館工芸社」を視察し、近年人気が高まっている曲げわっぱが、多くの工程によって作られていることを学びました。土産品にたくさんの曲げわっぱ製品を購入した参加者もいました。

最後の訪問先は北秋田市の大太鼓の館。例大祭の時にしか聞けない世界一の太鼓のパフォーマンスや世界各国の太鼓の展示を楽しみました。

平成 29年5月
地方連携推進室



マタギ、秋田犬の「飛鳥」と「あこ」、ゆるキャラ達の歓迎を受ける外交団



使用済みスマートフォンをリサイクル回収のため手渡す



十和田湖畔に響き渡る曲げわっぱ太鼓のパフォーマンス



リサイクル原料から取り出した金のインゴットを持ち上げる参加者

今回のツアーの共催団体からは「多くの国の方にこの地域の魅力を発信し、喜んでいただいたことが何よりの収穫。今後はこのつながりを活用して地域への来訪者増加を図りたい」といった声が聞かれました。

また、参加した外交団からは「地元の文化は印象的であり、また鉱業からリサイクル産業へと地元産業が転換した歴史はたいへん感動的だった」との声がありました。

【プログラム・訪問先】

5月9日(火)

- 歓迎セレモニー
- 伊勢堂岱遺跡
- (株)エコリサイクル
- 小坂鉱山事務所
- 康楽館
- 小坂鉄道レールパーク
- レセプション

5月10日(水)

- 十和田湖遊覧船
- 小坂製錬(株)
- 曲げわっぱ工房「大館工芸社」
- 大太鼓の館



曲げわっぱの材料になるのは
樹齢150-200年の天然秋田杉



ギネス認定された世界一の太鼓
その演奏はすごい迫力